学校番号	３１５

令和２年度　公民科

教科	公民	科目	現代社会	単位数	２単位	年次	１年次
使用教科書	「現代社会」　（東京書籍）						
副教材等	クローズアップ現代社会　（第一学習社）						

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

① 教科書・資料集の文章を読ませ、写真・図を見させて基礎的知識を習得させる。
② 新聞やＴＶ報道などの身近で時事的な資料などを活用し、導入などで活用するなど興味・関心をもたせて現代社会の理解を深めさせる。
③ 基本的事項の確認のための小テストなどにより知識の定着をはかる。

２　学習の到達目標

① 広い視野に立って、現代の社会とそこで生活する人間についての理解を深める。
② 現代の社会の基本的な問題について、主体的に考え公正に判断できる能力を身につける。
③ 自ら人間としての在り方・生き方について考える基礎を養い、良識ある公民として必要な能力・態度を育てる。

３　学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:関心・意欲・態度	b:思考・判断・表現	c:資料活用の技能	d:知識・理解
観点の趣旨	現代社会の最新の問題に対する関心を高め、意欲的に課題を追究し、社会的事象を総合的に考察しようとする態度をもつこと。平和で民主的なよりよい社会の実現に向けて参加、協力する態度を身につけようとすること。	現代社会の基本的問題と人間に関わる事柄から課題を見出し、多面的･多角的に考察し、社会の変化や様々な立場、考え方を踏まえて判断できる。その過程や結果を様々な方法で適切に表現できる。	現代社会の基本的な問題と最新の出来事に関する諸資料を様々なメディアを通して収集し、有用な情報を適切に選択して、効果的に活用する学び方を身に着けている。	現代社会のさまざまな問題と人間としての生き方とに関わる基本的な事柄や知識を正しく理解する。正しい情報を習得する手段を理解し、その知識を身につけている。
評価方法	ワークシート レポート	ワークシート レポート 定期考査	ワークシート 定期考査	小テスト 定期考査

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点				単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	d		
一学期	わたしたちの生きる社会と青年期と自己形成の課題	・地球環境と資源・エネルギー ・科学技術の発展と生命 ・情報化の進展と生活 ・現代社会と青年の生き方 ・よりよく生きることを求めて	○ ○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○	 ○ ○	○ ○	a: 環境に関わる問題やその中で生活する人間との関係を理解し、現代を生きる人間の問題点や課題を理解し、意欲的に課題を追究するとともに、社会的事象を総合的に考察しようとしている。 b: 環境に関わる問題やその中で生活する人間の課題を見出し、多面的・多角的に考察し、その過程や結果を様々な方法で適切に表現している。 c: 環境に関わる問題やその中で生活する人間に関する、諸資料を様々なメディアを通して収集し、有用な情報を適切に選択し、効果的に活用して学び方を身に着けている。 d: 環境に関わる問題やその中で生活する人間を理解し、その知識を身につけている。	ワークシート 定期考査 レポート 小テスト
一学期	現代の社会と人間と個人の尊重と法の支配	・日本国憲法と民主政治 ・個人の尊重と法の支配 ・日本の政治機構 ・現代政治の特質と課題 ・個人の尊重と法の支配	 ○ ○ ○ ○	○ ○ ○ 	○ ○ ○ ○ ○	○ ○ ○	a: 民主政治や日本国憲法の基本原理に対する関心を高め、意欲的に課題を追究するとともに、社会的事象を総合的に考察しようとしている。 b: 民主政治や日本国憲法の基本原理に関わる事柄から課題を見出し、多面的・多角的に考察し、その過程や結果を様々な方法で適切に表現している。 c: 民主政治や日本国憲法の基本原理に関する諸資料を様々なメディアを通して収集し、有用な情報を適切に選択して、効果的に活用して学び方を身に着けている。 d: 民主政治や日本国憲法の基本原理を理解し、その知識を身につけている。	ワークシート 定期考査 レポート 小テスト

二学期	現代の経済と国民福祉	・経済のしくみ ・変化する日本経済 ・豊かな生活の実現	 ○ ○	○ ○	○ ○ ○	○ ○	a:経済の仕組みと人間の生活に対して関心を高め、意欲的に課題を追究するとともに、社会的事象を総合的に考察しようとしている。 b: 経済の仕組みと人間生活に関わる事柄から課題を見出し、多面的・多角的に考察し、その過程や結果を様々な方法で適切に表現している。 c: 経済の仕組みと人間生活に関する諸資料を様々なメディアを通して収集し、有用な情報を適切に選択して、効果的に活用して学び方を身に着けている。 d: 経済の仕組みと人間生活に関する動向を理解し、その知識を身につけている。	
二学期	国際社会と人類の課題	・国際経済の仕組みと動向 ・国際政治のしくみと動向 ・国際社会の現状と課題	○ ○ ○	 ○	○ ○ ○	○ ○	a: 国際社会の現状と課題やその中で生活する人類のあり方に対する関心を高め、意欲的に課題を追究するとともに、社会的事象を総合的に考察しようとしている。 b: 国際社会の現状と課題やその中で生活する人類のあり方に関わる事柄から課題を見出し、多面的・多角的に考察し、その過程や結果を様々な方法で適切に表現している。 c: 国際社会の現状と課題やその中で生活する人類のあり方に関する諸資料を様々なメディアを通して収集し、有用な情報を適切に選択して、効果的に活用して学び方を身に着けている。 d: 国際社会の現状と課題やその中で生活する人類のあり方に関する課題を理解し、その知識を身につけている。	ワークシート 定期考査 レポート 小テスト

三学期	ともに生きる社会をめざして	・若者の労働環境をどう改善するのか？ ・ゴミの分別・回収の負担の意義とは？ ・安心して豊かに暮らせる社会にするには？ ・発展途上国の開発をうながす貿易のあり方は？ ・エネルギーを持続的に利用可能にするには？ ・少子高齢社会における世代間格差をどうするか？	○ ○ ○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○ ○ ○	 ○ ○ ○	○ ○ ○ 	a:現代の課題をふまえて今後の日本社会をよりよい方向に築きあげていくための関心を高め、意欲的に課題を追究するとともに、社会的事象を総合的に考察しようとしている。 b: 現代の課題をふまえて今後の日本社会をよりよい方向に築きあげていくため、多面的・多角的に考察し、その過程や結果を様々な方法で適切に表現している。 c: 現代の課題をふまえて今後の日本社会をよりよい方向に築きあげていくための課題に関する諸資料を様々なメディアを通して収集し、有用な情報を適切に選択して、効果的に活用して学び方を身に着けている。 d: 現代の課題をふまえて今後の日本社会をよりよい方向に築きあげていくための課題を理解し、その知識を身につけている。	ワークシート 定期考査 レポート 小テスト

※　表中の観点について　a:関心・意欲・態度　b:思考・判断・表現
c:資料活用の技能　d:知識・理解

※　年間指導計画（例）作成上の留意点

・原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）の各項目において特に重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について○を付けている。